

東北風景街道協議会委員による現地視察結果

日時：平成25年10月24日(木)～25日(金)

場所：山形県西置賜郡飯豊町～小国町

東北風景街道協議会では団体の質的向上を図る目的として協議会委員による現地視察を視察を希望する1～2団体で毎年実施しています。今年度は「越後米沢街道・十三峠」で初めて実施しました。パートナーシップが実施している取り組みについての評価と今後のアドバイスをもらうため、東北風景街道協議会委員(志賀委員、堀委員、早坂委員)にご同行頂き、地域資源の視察および意見交換会を行いました。

1. 現地視察

視察においては、道の駅「いいで」、宇津峠、道の駅「白い森おぐに」、萱野峠、十三峠資料室、大里峠、黒沢峠などの地域資源の説明を受けました。その中で委員の方からは、案内誘導看板の設置位置や駐車場の確保などについてアドバイスを頂きました。



『宇津峠』



『道の駅「白い森おぐに」』



『萱野峠』



『大里峠』



『十三峠資料室』



『黒沢峠』

2. 意見交換会

委員からは、ストーリー性、実際に歩いて味わうことの出来るボリュームがあり、リピーターになってもらえる素材の力はあるとの意見が出されました。一方でこの財産を他所の人にどう伝えるかを考える必要があるとの課題も上げられました。



『意見交換会』

また、財産として後世にどう残していくかといった場合に、維持管理が必要不可欠であり、ひとつの組織ではなく、新潟を含めたネットワークを構築し、協力関係を築くことや、自分たちの活動に合う助成金に応募する等の活動資金を得る方法等の紹介がありました。

それ以外では、活動を継続していくためには、女性のパワーを引き込むことが良いとの意見があり、活動への発想が変化し、良い方向に進む可能性があることや目的、目標を明確にすることが活動を維持していくためには重要であるとのアドバイスを頂きました。